

令和7年度 第1回匝瑳市総合教育会議 会議録

- 1 日 時 令和7年7月15日(火)
開会 午前9時 閉会 午前10時40分
- 2 場 所 市民ふれあいセンター 第3会議室
- 3 出席者 匝瑳市長 宮内 康幸
匝瑳市教育委員会
教育長 椎名 和浩
教育長職務代理者 有田 光
教育委員 大木 睦子
教育委員 小作 広子
教育委員 熱田 英幸

事務局

- | | |
|----------------|--------|
| 学校教育課長 | 伊藤 賢一郎 |
| 生涯学習課長 | 畔蒜 稔行 |
| 給食センター所長 | 高橋 章彦 |
| 図書館長兼公民館長 | 川口 義夫 |
| 生涯学習課スポーツ振興班統括 | 伊藤 芳雄 |
| 図書館管理班統括 | 田中 香織 |
| 学校教育課学務班統括 | 来栖 寛之 |
| 総務班統括 | 林 聡子 |

4 議 題

- (1) 公共施設の統廃合等の検討について

5 会議概要

進 行 (学校教育課長)

みなさん、こんにちは。

本日、進行を務めさせていただきます、学校教育課長の伊藤です。

よろしく申し上げます。

ただいまから「令和7年度 第1回匝瑳市総合教育会議」を開会します。

ここで、本日の出席者を御紹介します。

～ 出席者の紹介 ～

続きまして、宮内市長より挨拶をいただきます。

宮内市長

皆さん、おはようございます。

本日は、お忙しい中、「令和7年度第1回匝瑳市総合教育会議」に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。

総合教育会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、大綱の策定に関する協議及び地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、相互に連携して教育行政を推進していくために設置されたものです。本年度で、設置されてから11年目を迎えました。

この総合教育会議では、「匝瑳市教育大綱の策定」の他、これまでに「道德教育」や「教職員の働き方改革の推進」、「リモート学習の現状と課題」、「匝瑳市コミュニティ・スクールの導入」、「部活動の地域移行」などをテーマに話し合いを行ってまいりました。

今回は、「公共施設の統廃合等に向けた検討について」をテーマといたしました。この後、内容については、事務局から説明がありますが、まず、ここに至る経緯について、私から少しお話しさせていただきます。

御承知の方もいらっしゃると思いますが、本市の令和7年度当初予算におきましては、財政調整基金の繰入金17億円を計上し、予算を編成したところです。これにより財政調整基金の残高は、大幅に減少する見込みであり、本年度の補正予算の財源の確保や来年度当初予算編成が困難になることが予想されています。また、今後、市民病院や消防庁舎の建て替え整備、また、東総地区クリーンセンター匝瑳中継施設など大規模な事業が控えておりまして、財政状況が大変厳しくなる見込みです。このような状況を踏まえまして、現在、私をトップといたしまして、全庁的に組織を拡大しました、財政健全化推進委員会において、財政健全化に向けた取組を進めておるところであります。具体的には、財政健全化推進委員会において、令和8年度当初予算編成に向けた事業仕分けの実施、令和7年度当初予算の執行抑制、歳入確保の強化、そして公共施設の統廃合に向けた検討、この4つを財政健全化に向けた令和7年度取組方針として定め、現在、委員長である私の指示に従いまして、各課において、令和7年度当初予算の執行抑制を図るとともに、令和8年度当初予算編成に向けた事業仕分けの検討を進めているところでございます。また、公共施設の統廃合や縮小に向けまして、私から具体的な施設について、検討指示を行ったところでありまして、統廃合の指示を行った施設は、野栄総合支所、八日市場勤労青少年ホーム、市立保育所、市立小学校、市立図書館、パークゴルフそうさでございます。

そのようなことから今回皆さまからは、市立小学校、市立図書館、パークゴルフそうさを対象に御意見を伺いたいと思いますので、教育委員の皆さまから忌憚のない御意見を賜り、今後の市政や教育行政に反映して参りたいと考えております。

結びにあたり、限られた時間ではありますが、本日の会議が実り多い会議となりますよう、御協力をお願いしまして、開会にあたっての私の挨拶とさせていただきます。

皆さん、どうぞよろしくお願ひいたします。

進 行 (学校教育課長)

続きまして、匝瑳市総合教育会議運営要領第3条第3項に基づきまして、議事録署名人を選出したいと思いますが、いかがでしょうか。

構成員 1

椎名教育長にお願いしたいと思います。

～ (構成員から「異議なし」の発言) ～

進 行 (学校教育課長)

それでは、椎名教育長に議事録署名人をお願いします。

続きまして、これより協議に入ります。

議長につきましては、匝瑳市総合教育会議運営要領第2条の規定により、宮内市長にお願いします。

議 長

それでは、規定に従いまして、しばらくの間、議長を務めさせていただきますので、皆さま御協力よろしくお願ひいたします。

議題(1)、「公共施設の統廃合等の検討について」について、学校教育課長より説明をお願いします。

学校教育課長

それでは、資料1に基づきまして、御説明いたします。

先ほど、市長からも話があったとおり、令和7年5月に匝瑳市財政健全化推進委員会の委員長より公共施設の統廃合等に向けた検討の指示があり、対象施設として市内小学校10校が指定されました。

資料には、児童数の推移が記載されておりますが、令和7年度から令和11年度までの児童数ですが、令和8年度以降はおよその予想人数となります。令和7年度の6年生の人数を減らして、新1年生については、市内の保育所、幼稚園にいるおそらくこの学校に入学予定と思われる児童を入れてあります。私立の保育園、幼稚園の人数は入っておりませんので、正確な数ではありませんが、おおよその数ということで御理解下さい。市内では、児童生徒数の減少が進んでいます。4年後、令和11年には、現在の1284名から469名減の見込みとなり、815名となる見込みです。児童数の減少により様々な問題が発生し、教育内容の充実が難しくなると考えられます。例えば、人間関係作りや社会性の育成、学習面の問題、複式学級の問題、学校経営上の問題等があると思います。なお、複式学級とは、1つの学級の児童生徒の人数が、1年生と2年生を合わせた人数で、8人以下になった時点で、複式学級になります。1年生が6人、2年生が2人の場合は、1つのクラスということで、1人の先生が1年生と2年生の担任として授業をやっていくということになります。1年生を含まない場合は、16人です。2年

生と3年生あわせて16人以下の場合は、2つのクラスが一緒になり1人の先生が2年生と3年生の担任になります。2年生と3年生が複式となった場合に国語の授業をやる時に、2年生の国語の授業と3年生の国語の授業を1人の先生がやることになります。普通であれば2年生と3年生では内容が違いますので、違う先生が教えることになりますが、複式になってしまうと1人の先生が教えることになります。教材研究などの先生方の負担もそうですし、子ども達も2年生が学習している時は、3年生が自習となり、3年生が学習している時は、2年生は自習になり、学習内容が定着することが難しくなります。現在、複式学級が発生する学校が出てきています。

そういったことを解消するためには、計画的な統廃合が必要となり、それが子ども達にとってよりよい教育環境の提供、持続可能な学校運営の実現を目指すものとなると考えます。

先ほど、市長から指定を受けたのは、市内小学校10校でしたが、参考までに市内幼稚園の園児数の推移も調べました。こちらは、令和7年度まででデータがありませんでしたので、令和7年度は若干増えています。傾向としては段々と数が減っています。出生数の推移をみても幼稚園の園児数も減っていくことは一目瞭然、かなりの確率で減少が進むと思います。なお、公立の幼稚園ですが、近隣では、こども園が多古町にあります。東庄町にもこども園があります。この2町のこども園というのは、公立の保育園と幼稚園を合わせたものになります。これ以外で、本市のような公立の幼稚園はございません。ですので、幼稚園に関しても、先ほど市長の挨拶の中にもあったように、市立の保育所の統廃合の検討の話も出ているようなので、担当課とも連携しながら、幼稚園も検討に入れてはどうかと今のところ考えております。

具体的な統廃合案については、市内10校の小学校において計画的に統廃合を進めていく予定です。具体的に今のところ何校に減らすとか、どこどこを統合するというような計画はありません。

教育長

私の方から2点補足をさせていただきます。

1点目は、お配りした出生数の推移ですが、現在の小学校1年生は、平成30年生まれです。昨年生まれた子ども達100人出生しましたが、小学校に入学するのが令和13年となります。100人の内訳ですが、参考までに調べたところ多い順に地区別にお知らせしますと豊栄地区が20人、中央地区が15人、平和地区が14人、栄地区が13人、須賀地区が8人、同数で8人が、共興地区、椿海地区、その他ですが、匝瑳地区1人、豊和地区2人、吉田2人、飯高2人というようになっています。この傾向はこの数年上位は変わりません。

それともう1点補足させていただきますが、統廃合を考える上で、教育委員の皆さまや市長に御承知おきいただきたいのは、国や県から給与をもらっている正式職員、県費教職員といますが、例えば吉田小の場合も10何人います。もし、吉田小をなくす場合は、その教職員をどこに配置するかを当然考えなければならぬ話でありまして、匝瑳市内ではまかなえない場合には、県教委に相談しまして、近隣で引き受けてもらうというケースも今後出る可能性があります。従いまして、一気に3つも4つもなくすと

りますとそれが大変な作業になってしまいます。現在働いている県費教職員の人員配置についてを併せて統廃合では進めていかなければならないということを御承知おきいただきたくと思います。

議 長

ここでお諮りしたいのですが、この後、図書館、パークゴルフと説明を続けていただいて、その後に御質問等の意見をお伺いすることでよろしいでしょうか。それとも1つずつの方がよろしいでしょうか。一応、続けて説明して頂くと考えてきておりましたので、続けてでよろしいでしょうか。

それでは、図書館長兼公民館長より説明をお願いします。

図書館長

A4サイズの資料3枚が、図書館の資料となります。まず、1枚目をご覧ください。

八日市場図書館の利用状況となります。コロナ前の令和元年と比べると貸出冊数、貸出人数、来館人数の1日平均が少ない状況ですが、人口の減少ですとか、インターネットの利用の増加等によって減っていると思われまます。八日市場図書館ですが、下段に記載してありますが、骨組みだけを残して建替を行っており、建替開館日は、平成11年2月6日です。匝瑳市内の中心に位置しており、利便性が高いです。図書館のまわりには、高校が2つあり、幼稚園、保育所、小学校、中学校もあります。市内に書店がないので、図書館の果たす役割が大きいのではないかと思います。八日市場図書館では、毎週土曜日おはなし会を開催しています。30分位の短時間ですが、開催しています。あと、イベントといたしまして、人形劇を楽しむ会、読書感想文書き方講座、図書館たんけん、しおりづくり、冬のお話しを楽しむ会、歴史ウォーク、赤ちゃんと楽しむおはなし会などを開催しております。また、市内の学校や児童クラブ等への配本サービスを行っております。要望のあった本を、図書館司書が選定をいたしまして、学校へ運んでいきます。令和4年度「子どもの読書活動優秀実践図書館」表彰を受賞しました。長年にわたる子ども読書活動への取組が認められ、文部科学大臣から表彰されました。八日市場図書館は、中学生、高校生の学習室の利用が多いです。

2枚目をご覧ください。のさか図書館の利用状況等をまとめてあります。のさか図書館は、平成21年11月25日に開館しました。のさか図書館の特徴といたしましては、絵本、児童書が多くなっています。のさか図書館の近くには、つどいの広場やフラワーチャイルドレンの施設がございまして、こちらの職員や親子がのさか図書館に訪れまして、読み聞かせなどをしています。イベントとしては、読書感想文書き方講座や勾玉作りなどを開催しています。

続きまして3枚目をお願いします。こちらは、人件費とシルバー人材センターへの委託料をまとめてあります。人件費としては、正規職員と会計年度任用職員をまとめてあります。ここには、図書館長の人数と人件費は含まれておりません。図書館シルバー人材センター委託料ですが、八日市場図書館につきましては、午後5時から9時まで夜間開館しておりますが、夜間に関しては、シルバー人材センターへカウンター業務などを委託しております。のさか図書館は、現在、夜間開館はしていないのですが、のさか図

書館勤務の職員が急に休みになった場合にシルバー人材センターへ委託しています。図書館の説明は以上となります。よろしく申し上げます。

議 長

ありがとうございました。それでは、続きまして生涯学習課長より説明を求めます。

生涯学習課長

よろしく申し上げます。パークゴルフそうさの概要ということで資料を用意しました。

まず、1の総事業費といたしまして、455,787,760円が開設経費としてかかっています。2の供用開始日ですが、令和2年10月31日です。3として各年度の収支を歳入と歳出毎に記載してあります。令和3年度ですが、歳出が他の年と比べて多いのは、植栽維持の管理委託料が1,408,000円かかっているのも多くなっています。他の年は、大体5,000,000円から6,000,000円位です。令和6年度の歳出が多いのは、高圧受変電設備更新で6,369,000円かかっています。例年、歳出の方は、20,000,000円から21,000,000円位がかかっております。4の各年度利用者数ですが、各年度毎の利用者数とカッコ内の数字は、実人数となっております。令和4年度からはカッコ内で実人数を市内と市外に分けて記載してありますが、令和2年度3年度につきましては、市内市外に分けておりませんでしたので記載がありません。主な市の主催大会ですが、7月のサマーカップ、9月オータムカップ、11月市長杯、1月ウィンターカップ、3月スプリングカップを毎年日にちは違いますが、日曜日に開催しております。この四季大会ですが、市内外より100人程度の参加となっております。市長杯については、市内の在住在勤在学の者ということなので、75人位の参加となります。

説明は、以上となります。

議 長

ありがとうございました。それでは、「公共施設の統廃合等に向けての検討」につきまして、それぞれの説明が終わりました。説明のありました項目につきましてそれぞれの項目毎に皆さまからの御意見をいただきたいと思っております。

まず、学校教育課の説明について、御意見御質問等を含めお伺いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

構成員 1

学校の統廃合に向けたところなんですけど、保護者や地域の方は、少人数の方が手厚い教育を受けられるというふうに基本的に思っておられると思いますが、学校は、集団で学んでいく場で、そこで多様な自分とは違う考え方に触れたりだとか、係のいろいろな仕事をするとかして、できないことができるようになったりだとか、新しくできるようになったことを喜んだりとか、また、友達との摩擦というものも子ども達にとっては大事なことで私は思っているんで、謝ったり謝られたりすることは、大事なことで思

いますので、あまりにも小さい集団ですと関係が固定化されてしまって、例えば、誰ちゃんは、算数が得意で、その次に得意なのは誰で、私は、大体何番目位みたいなのが分かっていてそれが6年間続いていくのは、子ども達にとってマイナスではないかなと思います。地域の理解を得られないと後々問題も含んでくると思いますので、丁寧な説明をしながら子ども達にとってよりよい環境がどういうものかということ具体的に地域や保護者の方に示しながら進めていくことだと思います。

構成員 2

今の委員からのお話と重複するところがあるかもしれませんが、やはり学校というのは集団で学ぶところに大きな意味があると思います。その集団が適正規模であるということがまたとても大事なことで、小さすぎればそれは集団としてのよさを生かし切れない、大きすぎても生かし切れないので、適正規模というものがとても大事になると思います。そういう意味でもある程度の大きさをグループができて、特定に固定せず、いろいろなグループに属しながらいろいろな考えを聞きながら学んでいくことこそ、子ども達にとって大事なところだと思うんですね。統廃合を進めていく時に大事なものは、学校教育課の資料もそのように作ってありますが、まずは、子どもの学びということについてしっかりと焦点をあてて、子どもの学びのためにはどういうふうにあるべきかということについてしっかりと話し合うべきだと思います。これは、住民を含めてですが。小学校というのはやっぱり地域の核としての学校の在り方というか、そこをある程度分けながら話し合っていないと一緒になって話をしていると混乱してしまってどっちの話をしているんだっけということになってしまいますね。まず、子ども達のためということと地域のためということとを分けてといたらなんですが、よく考えてそういった話を丁寧にしていくことが大切かなと思って今までの話を聞いていました。それともう一つは、これまでの流れを資料にさせていただくとバッドシナリオしか頭の中に浮かばないんですが、やはり市として将来的に子どもを育てやすい匝瑳市、是非是非子どもを匝瑳市で育てたいと思うような、これに成功している全国の事例がいくつかあるわけですから、子どもや子育て世帯を市に呼び込むかということについても同時に考えていかないといけない。悪い状況がずっと続いてしまって次はこの学校だな、次はここ、次は俺たちの地区だなということではなく、増やしていくことも市として考えていくことも大事だと思うんです。難しいことですが、全国では成功している事例もありますので、市民からのアイデアも含めて、皆さんでこのことについては考えていく必要があるのかなというふうに思いました。

議 長

ありがとうございます。

その他に何かございますでしょうか。

構成員 3

わからないので伺いたいのですが、各小学校施設設備等維持管理費の中のパソコン維持管理費ですが、今までの教育委員会議でも結構話題に上がったんですが、学校あたり

の絶対児童数が違うのになぜ金額が全部同じなのでしょう。これは市が契約した金額を割り算して1校あたりを出しているためでしょうか。もう一つの質問ですが、学校施設の老朽化の順位ですが、今世の中で心配されている災害となった時に避難所にもなっているともお話しがりましたが、こういう施設の耐震診断のようなことをしなくてもいいのか、しているのか、する予定なのか分からないのでお尋ねします。

議 長

ありがとうございます。事務局お願いします。

学校教育課長

パソコン維持管理の金額が一律で1,400,000円になっているのは、台数ではなくて、今各学校にタブレット等を配布して使っています。子ども達にたくさん使ってもらって、家にも持ち帰ったりして積極的に活用しているのですが、やっぱり故障したりします。後は、突如、インターネットに繋がらなくなったりした時のメンテナンスや保守点検とかそういったことを含めた金額になっているので、台数とかではなく毎年この位維持していくのにかかるお金ということで、一律になっています。

そして、施設設備については、定期的に行っており、耐震診断については全ての学校で行っていると認識しております。

教育長

私の知りうる限りでは、各小学校で補強材が入っている学校があると思うんです。ご存じのとおり東日本大震災の後に全国的に見直しが入って、国の支援もあって、やっているものなので、その後のことはわかりませんが、あの時点で一齐に全部やって終わっているはずですが、これは校舎ですが、体育館については、古いものは再度持ち帰って確認したいと思います。

議 長

ありがとうございます。他に御意見いかがでしょうか。

構成員 4

私は、野田小に子どもが6年生と1年生にいますけど、今年の1年生が18人ですか、すごく少ないんですけど、子どもの少子化っていうものが待ったなしになってきていると思うんです。自分の弟の子なんですけど、まだ4歳位なんですけど、栄地区に引っ越そうかということも考えているんですけど、親戚の家が空き家になるので、やっぱり教育の面、小学校の面でもすごく不安を抱えていて、本当にここでいいのかなって、そういうのを考えると結構、なるべく早く進んでやらないと現役世代は不安が大きくなっていう感じはします。実際、自分の子どもが小学校1年生に上がる時にも違う小学校に行った方がいいのかとも考えました。先々のことを考えると。そう考えてみると例えば11年までのところにもう500人近く減ることなので、なるべく早く話を進めていかないとしょうがないのかなっていう感じは、自分は感じました。

議 長

ありがとうございます。他に聞いておきたいこととかございませんか。

構成員 1

幼稚園、八日市場幼稚園の話が出ましたが、1つしかないのでイメージがわからないのですが。

学校教育課長

これはまだ、検討材料にしていこうというところまでなんですけど、課は違いますが、市の保育所が見直しの対象に全てなるので、それを踏まえて総合的に考えた時に多古町や東庄町でやっているこども園という案もでていきますので、まだ、担当課とか決まっていなくていい状態ですので、ただ、そういう話が上がってきているということを知ったので、検討する方向としてはありなのかなと考えています。

構成員 1

こども園以外にも何かあるのかなと思ったものですから。
ありがとうございました。

議 長

他にいかがでしょうか。

構成員 2

特に学校の統廃合については、いろいろな意見がきつといざやってみると出てくると思いますし、人の流れも予想しているものと違う流れも出てきますよね。他地区でも、先に計画案を出してしまうともう先がないのだから隣の学校、残る学校に1年生の時から入学させてしまおうかって、その方が人間関係も途中で変える必要が無いし、ということ、どんどん動きが流動的になってくる可能性もあるので、これは、読み切れるものではないかもしれませんが、そういうこともある程度予測しながらやはりやっていかないと意外な学校が、今度1年生3人しか上がってこないなんていうことになってしまうことが多いですね。ですから、これは読み切れませんが、きめ細かに人数把握しながら進めていかないと市の持っている状況だったり学校教育課が考えているものと大きく変わってしまうこともあるので、これは難しいんですけど、少しずつ少しずつこまめに状況を把握しながら進めていかないと難しい面も出てくるのかなっていう風に考えますね。私の住んでいる樺海地区なんかは、あれだけ家が建っていて、これからも建つであろう状況の中で、子どもの数がこれからの予想でしかないんでしょうけど、減っていくということがどうもピンとこないんです。その辺りが実際に今後どう把握していくのか、そこに住んでいる人たちの家族構成を含めて、きめ細かにちょっと把握していかないと実際の数字と現状とで違いが見えてきてしまう気がしています。是非その点をよろしく願いいたします。

学校教育課長

実は、先ほどお話ししたようにこの令和8年度以降については、今の匝瑳市内の保育園、幼稚園こちらの方を参考にしています。今のお話しのように椿海については、私の想像ですが、こひつじ幼稚園にかなりの子どもが行っていると思います。こちらの数は全く入れていませんので、その辺がよく見ていかなければならないところだと思いますので、多少の人数の変更はあると思います。ただ、減っているところについては、ほぼほぼ大体この数字で変わらないと思います。椿海に関しては、住宅地がたくさん今建っていますので、そういった部分を考えながら計画の方は進めていかないと行けないと思っています。

構成員2

今までの市の守備範囲の中の人数の拾い方というのを少し見方を変えながらやっていると実際の数字と学級を編成する上で大きな違いが出てきてしまうと、今やこうなってくると一人二人の人数の違いが学級数1なのか2なのかと大きく変わってきてしまうので、是非これを何らかのやり方で今この幼稚園に行っているとかそういったことまでわかるといいですね。そこまでやらないと実際の小学校に上がった時っていうのは分からなくなってしまうので、直接学級数や職員数だとかに全て関わってしまうので、何かいい方法があれば、これは、他の市でも同じだと思いますので、隣の旭市、横芝光、多古もそうでしょうけれども少しその辺りと連携しながら数字の拾い方を変えていかないと市としての先々が見えてこないんじゃないかと思います。是非そういうものがあればお願いしたいと思います。

構成員1

子どもの数っていうのを私は出生数から拾っているものだと思っていたので、本当に椿海だとこひつじ幼稚園に行っている子が多いので、近いので多いことは多いのかと考えられるので。匝瑳市で生まれる子どもの数で掌握していけば、それは少ないのかなっていう印象はあるんですけど。以上です。

議 長

その後を追うことはできないのでしょうか。

学校教育課長

即答はできないのですが、先ほど教育長が示した出生数の地区別のものならそれである程度はわかります。もっと幼稚園に例えば3歳から6歳位までの正確な数というのは、過去の出生者の地区がちゃんと出るのであればだいたいわかると思います。ただ、だからといって椿海の出生者が必ず椿海保育園に入れているとは限らないので、その辺がわからないんですけど、客観的に見てその地区ごとの出生者数で大体考えていくことが普通かなと思います。いずれにしても総数は決まっているので、そこで割り出せば大体のものは把握できると思います。

構成員 2

旭市も実際に統廃合が始まりますよね。結局そういったところとは似たような課題を持っていると思うんですよ。まさにそこで一緒に数を数える上でもどこに行きそうだという含めても少し情報交換しながら、たまに椿海保育園に行きますけど、かなりの数の子どもがいますからこんなにたくさんいるんだな、これが何で椿海小に上がっていかないのかなと思うのもありますし、逆にこひつじ幼稚園なんかもあんなに大きい幼稚園があるのにどうして匝瑳市の方に流れてこないのかなというのがありますし、お互いその辺りを少し連携がとれると学校を少なくしていくっていうすごく大きなことに繋がっていくので、できれば今後は考えていただければありがたいなと思います。

教育長

よろしいですか。少し補足させていただくと先ほど出生数をお示ししましたが、令和6年、昨年が100人になっていますが、ちなみに旭は300人以上います。全県でみるとですね、本市よりも少ない出生の市は、いすみ市、勝浦市、南房総市が私の知る限りこの3つだけです。近隣の町は少ないです。多古町は50人くらいです。ですから市と町では大きな違いがありますので、一概には言えません。それからもう一つの視点としては、国が示している、いわゆる学級の適正規模というものがあるんですよ。学校の適正規模で、これはクラス替えが可能な1学年2から3学級と言っているんです。すなわち、最低で2学級だとすると1年生は35人学級なので、70人を超える人数が適正だと国は言っているんです。このクラス替えが可能だということが、みそなんです。やっぱり同じ集団でずっと過ごすのではなくて、どこかのタイミングでクラス替えもしている。例えばいじめの問題もあるでしょうし、様々な人間関係を学ぶということは、このクラス替えというの大きなポイントなんです。国はこれを一応示しているということです。以上御承知おきいただきたいと思います。ただ、70人の1年生、70人の学校を作るというのが大変な話なんです。先ほどいったように、令和6年でいうと一番多い豊栄ですら20人しかいないんです。今年でいうと豊和が2人です。皆さん、これですとずっといくわけですよ6年生まで。男女が一人ずつで仲良しでやればいいですけど、これが教育的であるかといえば、これは、ノーだと思いますので、そういう意味でもですね、また、皆さんも忌憚ない意見を後日で結構ですからいただければと思います。以上です。

議 長

ありがとうございました。では、小学校については、この程度でよろしいでしょうか。

では、次に図書館の説明について御意見を伺いたいと思います。質問を含めてお願いします。

構成員 4

先ほどお伺いしたんですが、どのような方向性で考えているのでしょうか。

議 長

事務局、どうですか。

基本は、御意見を伺うということだから、それを踏まえて今後検討していくというところではあるんですけど、その中で、今の段階でという意味合いで、どうですか。

生涯学習課長

私の方からお話しします。図書館は、八日市場図書館とのさか図書館の2館ございます。八日市場図書館は、先ほど館長から説明のあったとおり、いろいろ利便性もあって、利用者数も貸出冊数も結構数値が上がっております。そういったしますとのさか図書館の今後をどうするかという話になると思われま。今回は、八日市場図書館とのさか図書館と別々に資料を出ささせていただきました。ですので、今後のさか図書館に関しまして、どのような方向でいくかということが議論になると思われま。

教育長

議長よろしいですか。委員さんもお存じのとおり、あそこの建物は、よく見るとのさか図書館と書いてあるんです。入り口にプレートで。ですから、非常に地域住民の熱望もあって、おそらく建てられたものだと思います。今、あそこには支所があります。ですから支所との兼ね合いというのを今後担当部署と教育委員会の方で、図っていく必要はあるだろうなというふうに思っています。例えば、図書館を利用する人が支所にも行くということだとか、あるいは支所に用事があって来た方が、図書館にもちょっと顔を出すというようなケースもあると思われま。双方ですすね、支所の利用等も含めながら図書館も考えていきたいなというふうに思っています。

議 長

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

構成員 1

のさかのこと、のさか図書館のことではないんですけど、八日市場図書館の毎月、他地域への貸出ですとか、他地域から本を借りるやり取りが報告されるんですが、すごく貸出が多くて、それをみても蔵書内容はすごく充実しているのではないのかと思われま。個人的にも割と家族で使う方なんですけれどもこんなのがあった、他行ってないのにねと言って、話がよく出ていますので、すごくこんな小さな町の図書館にしては、蔵書の内容は、いい悪いで言うのが適切かどうかわかりませんが、よい方だと思います。それから子ども達の育っていく中で、やっぱり読書の占める役割はすごく大きいので、学校に入るようになると朝読の時間とか、図書室の利用の仕方とかを含めて本と触れることをするんですけども、やっぱり学校に入る前から、極端な言い方をするとお母さんが涼みに子どもを連れて図書館へ行くみたいなの、そして行ったら本があって楽しかったとか、そういう小さいときからの経験が将来的な読書に繋がっていくのかなと思われま。なので、読書も市として推進していくという前提には、やはり図書館の役割というの

はすごく大きいかないかと思っています。学校も上に行けば行くほど文章を読んで理解するというのが、数学とか、物理とか化学とかそういう領域においても必要になってくるので、文字を読むことを苦にしているのはあの高度な教育は受けられないというか、非常に難しい状況のなるのかないかと思っていますので、教育内容の充実という視点からもやっぱり本や文字を読むという習慣はすごく大事なのかないかと思っています。その点で、家にも本があつて、図書館にも本があつて、街にも本屋さんがあつてというのが理想かないかと思っています。以上です。

議 長

その他にいかがでしょうか。

教育長

ちょっと補足よろしいでしょうか。八日市場図書館の1枚目ですが、よく見ていただくと貸出冊数とかはですね、見ると若干減っていると先ほど館長から説明がありましたけど、事実減っております。ただ、この貸出人数とかは、来館者人数のところを見ていただくと5、6年度は増えているんですよ。その前からするとこれは明らかにやはり市内に本当に本屋さんがなくなり困っているとか多分に考えられるんじゃないかないかと思っています。ここまでのところ館長、7年度に入ってその辺の傾向というのはどうなんでしょうか。見られますか。

図書館長

私が見ている感じだと昨年度と同じくらいの貸出人数、来館人数だと思います。

教育長

みなさん、夕方5時から9時まで開館しているんで、この間の利用者も意外と多いなということです。これは、年間の数ですから、月ごとに割ると変わってきますけれども。以上です。

構成員 2

よろしいですか。図書館というのは、本を借りるところ本を読みに行くところというだけじゃなく、今、できているところは複合施設の中に図書館があるとか、他の施設と上手くくっつけていると思うんですよ。市の八日市場図書館は、公民館と一緒にしているということはあるんですけども、何かこう子どもの遊び場みたいなものと一緒にしたり、あるいは大人の活動だとか、お年寄りの活動と一緒に図書館があるとか、図書コーナーがあるとか、そういった作りを少しずつ変えていくことで、従来と違った活用の仕方も出てくるし、人の流れも出てくるし、コミュニケーションも生まれてくるしというところも考えられると思うんですよ。だから、読書離れが課題になってますけど、それを敢えて真っ向から、本を読もう、来て下さいと言ってもなかなか難しい。だからいわゆるもう少し総合的な何か活動の場の中に図書コーナーがあつたり、図書館があつたり、図書室があつたりですとか、そういうふうな方向性を少し工夫していかないと難し

い面もでてくるかなと思います。子ども達もどんどん少なくなるというようなことを考えればなおさら、何か工夫しないと人が寄ってきてくれないと思うんです。やっぱり、子どもだけでなく、大人も年寄りもそこを使って何か新しい活動が生まれたり、本を読んだり、いつもその図書館の係の人が読み聞かせをするのではなく、ちょっとしたところでおじいちゃんおばあちゃんに子ども達が読み聞かせをしてもらっているみたいな、そんな姿が出てくるとあそこが面白いから行ってみようとなるし、日常の中にその図書館があったり、公民館があったりというところにすごい繋がってくると思うんですよ。そういった意味では、今までのやり方も大事にしながら、少し工夫していく方向を考えていくことも必要かなと思います。それで、やはりのさかと八日市場の図書館というのも確かに二つ持つことはお金もかかるとは思いますけれども、だけど大事な施設だと思うんですよね。見方を考えつつ、その地区の人たちになくてはならない存在、よりどころにしていきたいとお話し聞きながら感じました。以上です。

議 長

ありがとうございます。その他いかがでしょうか。

教育長

無いようなので、教育委員会を代表してお話しさせていただきます。統廃合については、また今後、皆さんの御意見を聞きながらやるかやらないかも含めて考えて行きたいと思います。ただ、図書館は、やはり私が思うには、文化の象徴だと思うんですけど、ただ昨今の状況を見ると、我々大人は、あまりにもネット社会になってしまって、本や雑誌も今やもうスマホで見る時代になっているというようなことで、まして、書店がなくなったということも含めて、本を読みたい人がどれだけいるのかっていうと甚だ疑問です。ただ、それを委員の話ではないですけど、やはり小さいときからそういう習慣と言いますか、それを育てていくのが我々の仕事だと思っておりますので、やっぱり読む習慣をつけるには、よく館長とも話しているのですが、これまでの図書館経営の殻を破ってですね、例えば、幼小連携、あの近くには保健センターもあるし、幼稚園もあるし、小学校もあるんです。何でもそろっているんです。ですからそこともっともっと連携をすることで、本を読む楽しさを子ども達、そして若い世代のお母さん達にですね、どうぞ伝えてもらいたいというのが一つあります。それと、学習室の利用人数が実は多いんです。図書館に行くんですね、いつも高校生が勉強していたりっていうのが、ロビーであるわけですので、もうちょっと人が増えるようにするために、先ほど委員がおっしゃっていましたが、今は、大手のコーヒー店が図書館に入ったりなどのコラボがありますよね。ですから、目先でできることをすれば、例えば、自販機をふやすとか、図書館の中の飲食禁止とかあると思うんですけど、そのルールギリギリのところを考えていただいて、多少の軽食はオッケーにするとか、そういったかたちを今後考えていかないとなかなか来館者は増えないだろうと、小さな赤ちゃんを連れてお母さんがベビーカーでコーヒー片手に雑誌をめくるみたいなそういった姿というのが、私は想像しているんですよ。だからその辺もですね、これからの図書館の在り方ということで、統廃合とは離れてしまいましたけれど、今後考えて行く必要があるかと思っております。併せて収

益も考えていく必要があるといつも館長とは話しています。図書館でお金儲けと言われるかもしれませんが、100円でも200円でもいいから来た人から徴収できるような、そういうものも考えて行く必要があるんじゃないかというように思っております。以上です。

議長

ありがとうございます。図書館についてもこの辺でよろしいでしょうか。

それでは、続きまして生涯学習課の説明について移らせていただきます。生涯学習課の説明について、御意見御質問等をお伺いしたいと思います。

いかがでしょうか。パークゴルフそうさの今までの率直な感想などでも、統廃合ということにとどまらず、どんなことでも構いませんので、いかがでしょうか。

構成員1

パークゴルフができて、退職校長会の方でもパークゴルフ大会を企画して、やったりしてますので、ぼちぼちではあるんですが、利用は増えて、まず隅々まで周知されないとなかなか利用というところまでいかないの、ぼちぼち増えていくのかなという印象を持っています。ただ、ゲートボールとは違って、ゲートボールはだだっ広いところがあれば、自分たちで杭刺してどこでもできるわけですね。だけどそうじゃないのでやっぱりある程度固定した施設でやるということが、なかなか広まらないというのがあるのかなと思っています。家の近所に昔ゲートボール場だったところが、今は草ぼうぼうになっていて、パークゴルフよりも簡易的にできたであろうゲートボールですら人口は減っているのかなという印象です。ゆっくり遊んでいるおじいちゃんおばあちゃんよりせわしなく働いているおじいちゃんおばあちゃんが増えたのかなという感じです。パークゴルフは家族でも簡単にできるし、じゃあ行ってみるかみたいな、家族でそういう楽しみな場所になるような何かがあるといいですね。

構成員2

あのパークゴルフ場を維持するとして、たくさんの人を呼ぼうと思うとなかなか難しい面もあると思うんです。これは、まだできておらずかですけれども、少しずつ、例えば民営といたら変ですが、外の方々のアイデアを入れながら、一緒にやっていくことも考えてもいいかなと思うんですよ。そうでないとなかなか維持するだけにお金が出ていってしまって、利用者からたくさんお金をいただいて、もう少しいいコースにしようとか、なんかお風呂に入れるようにしようとか、前は望洋荘がありましたけど、みんなが終わった後で、懇親会をやるかなんてことに繋げるには、市は難しいと思うんですよ。だけど民営の力が入ってくれば、じゃあ一緒に手を組んで、ここの部分は市が願います、だけどそっちの運営については、少しアイデアださせて一緒にやらないかってタッグを組んだりとかそういうふうにしていかないとなかなか難しいかと思っています。逆にそういうふうになって手を上げてくれるところがあれば、いい方向にも進むし、いいアイデアも生まれてくるかなと思うんです。その辺りも考えていくのはどうかなと思います。パークゴルフだけでなく、一緒にキャンプもできるし、バーベキューもでき

るし、お風呂にも入れるし、っていうのができると多少違ってくるかな。でもそのために市が積極的に財政を使うことになるとうちが大変でしょうから、外部のそういったところと手を組んだりできるとうちがいいなと。そうすると宣伝も上手ですから、そうやっていくとうちが違ってくるからと思うんですが、まあ、これはそうなるとうちがいいなっていう夢みたいな話ですけど。

議 長

はい、ありがとうございます。

教育長

議長、今の委員の話に関連してなんですけど、課内では観光業とコラボで、例えば近隣の民宿とかペンションとかそういうところとコラボの話題があがります。ご存じのとおり、都会の方は、この辺の海産物を結構季節問わず食べに来るお客さんがいるんですね。正直、お泊まりとなると残念ながら旭、銚子にはかなわないわけですけど、少なからず宿泊する人はいると思うんです。そういう人にこういう場所を紹介することで、すなわちパンフレットを置いておいたり、ポスターを貼っておくことで、ちょっと行ってみようかなとか子連れの家族が来た、ファミリーが来た場合には、ちょっと子どもとやってみようかしらというような宣伝といいますか、PRというか、そういうこともこれからやっていかないとかなというふうな話は、課内ではよくしています。今委員がおっしゃったように民間活用ですよ、そういう部分も今後継続するのであれば、そういうことも前提に考えて、利用者を増やして、収益が増えることに繋がりますので、その辺も考えていきたいなと考えております。以上です。

構成員 1

あそこのデイキャンプ場をパークゴルフ場にしようという時にパークゴルフ場にしたらこういう利点があって、将来的にはこうなってみたいな見通しがあって、パークゴルフっていうのを選んできていると思うので、令和2年の10月ということなので、3年とか4年とか5年とか、まあ何年か経ったときにその当初のそのなんか見通しとか、それに対してどうなのかということのを少し分析してみるっていうことが大事かなと思います。

構成員 2

今、委員さんが言ったみたいにその長いスパンよりは、少し短いスパンでどうしようかということを検討していくようなことは大事だと思うんですよ、匝瑳市までいい道路ができましたよね。流れをそっちに持って行くにはどうしたらいいとか、これは先々、旭、銚子まで行ったらスルーされちゃうようなことにならないように、こんないいところがあるんだ、先ほど教育長もおっしゃっていたようにこんな民宿があって、ここでおいしいものを食べて、パークゴルフ場でちょっと遊んで、匝瑳はいいところだよ、いいじゃない、住んでみようか、別荘を建ててみようかなんてことにならないとも限らないので、うまくその辺りを一つの課で考えているとなかなか難しいんですけど、

総合的にこういういろいろとコラボしながらできないかなとか考えると決して悪いことばかりではなくて、何かに生かせないかなという部分もあると思うんですよね。是非、そういうのを活かしてもらいながら、折角新しい道路が、いいところに来ましたから、そういうのを活用してもらえるといいですよね。新しい道路から人の流れができると、これはPRによるところも大きいと思いますけど。

議長

はい、ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

構成員1

モデルコースの紹介とかいいですよね。あと、無人の野菜販売ではないですけど、たくさんありますよね。いろいろなところに。だから、統計取ってみて人が多そうな時に軽トラ市じゃないですけど、そういうのをやれると野菜なんかを買って帰って、おいしかったね、また行こうみたいなことにも繋がるし、地場産業となんかちょっと上手く繋がったりコラボできるといいですよね。

構成員2

道路が整備されて距離感は大分近くなってきていますね。

構成員1

すごくなにか速いらしいですね。

構成員2

だからそれだけでも匝瑳の方まで行くのは大変だというイメージよりは、ここまで来たんだからちょっと足を伸ばしてみようかっていうふうな印象になっていけば、いいと思いますけどね。

教育長

バーベキューの場所があるよね。課長、その活用状況が分かれば、皆さんにお伝えしてもらえますか。

生涯学習課長

バーベキュー場ですが、あそこに関しましては、ボーイスカウトとかサッカーの小学生のクラブチームに結構使っていただいています。普段、パークゴルフの大会の時にですね、皆さん市内外から来ていただいているんですが、大体朝の8時半頃から始めるんですけど、表彰式までだと1時過ぎまでかかってしまうので、皆さん表彰式の前に昼食をあの場所を取られています。そういうかたちで利用はしていただいております。

教育長

まあ、食事とかは自分で持ち込んでもらうことにはなりますが、一応、小さめですけど

バーベキューのできる施設もあるんですよ。あそこは、昔キャンプ場だったこともありますので、パークゴルフやりながらバーベキューもできると魅力的ではあるんですけど、だから発信不足なのかなというふうに思っているんです。

構成員 2

あとは、本気でそれを引き込もうとするかどうかのところがあると思うんですよ。待っていても絶対に来ないでしょうから。ただ、いろいろ工夫すると、今、ちょっとネットにでも火がつくと一気に人の流れも変わってくるのでね。やり方もきっとあるんだと思うんですよ。

教育長

前にのぼりがなかったかな。何か営業中みたいな。もう随分昔の話かな。つまり、知らない人はあそこを絶対スルーしちゃうんですよ。こういうものがあるのがわからないんですよ。

構成員 3

駐車場も入りにくいし。

構成員 2

キッチンカーがずらっと並んだりとか、そんなものが多少、土日なんかにあると。

教育長

それも一つの手ですよ。安易だけどのぼりみたいなものを何本か立てておいて、何かあるのかと思わせたり。

構成員 1

読めない街匠のほんとにみんな読めないんですから、併せて、そんなところからも、今、キッチンカーの話もしてましたけど、なんかこじやれた感じのもの、都会ではおむすび一つとってもこじやれているみたいなので、何か、イベント的な日があってもいいのかなという気がしました。

構成員 2

こういった話が、ただこの中で終わってしまうんじゃなくて、じゃあ、1年後にちょっと相談しながら、教育長も含めて、みんなで相談しながらここまでちょっとやってみようかってことで、やっぱり積極的に働きかけて、財政を説得して、そこにはお金を少しくれよっていうことでやってみるとか、若い人たちに少しアイデアと意欲を借りながらやってみるとかしないと、あんな話あったけど、それで終わっちゃったなとなり、いつまで経ってもきっと変わっていかないと思うんですよ。是非、こんな話がでたっていうこともきちんと広く伝えながら、課の中でも相談しながらやれることがあったら、ちょっと変えてみようかなみたいなそういった方向も大事かなと思うので、今は、こう夢

みたいなこと言って、そんなことできるわけないよと言って、でももしかしたらやれるかもしれない、その点については、是非、一つの課じゃなくて、市のいろいろな課と連携しながらやってもらえるとありがたいなと思います。

議 長

他に何かアイデアを含め、利用率向上について等についてもどうですか。よろしいですか。

皆さまから様々な御意見を伺ったところですが、本当にありがとうございました。本日の説明に対する御意見等はこれで終わりたいと思います。

ここで質疑を打ち切らせていただきたいと思います。

以上で、事務局から用意されました議事については、以上となりますが、その他について、事務局から何かありますか。

事務局

事務局は、ありません。

議 長

以上で、全ての協議が終了したという事で、議長の任を解かせていただきます。

本日、構成員の皆様からは、多くの示唆を含む御意見、御感想をいただきまして、誠にありがとうございました。

匝瑳市といたしましては、皆様からいただきました御意見を参考にしながら、今後も匝瑳市の教育の更なる発展に向け努力するとともにお話しがあった統廃合について、利用率向上について、しっかりと検討を深めて、また、皆さまからの御意見を伺う場もあるかと思いますが、御協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは、進行を事務局へお返しいたします。

進 行

宮内市長、議長の任、ありがとうございました。

また、委員の皆様には、熱心な御協議をいただき、ありがとうございました。

以上をもちまして、「令和7年度 第1回匝瑳市総合教育会議」を閉会いたします。